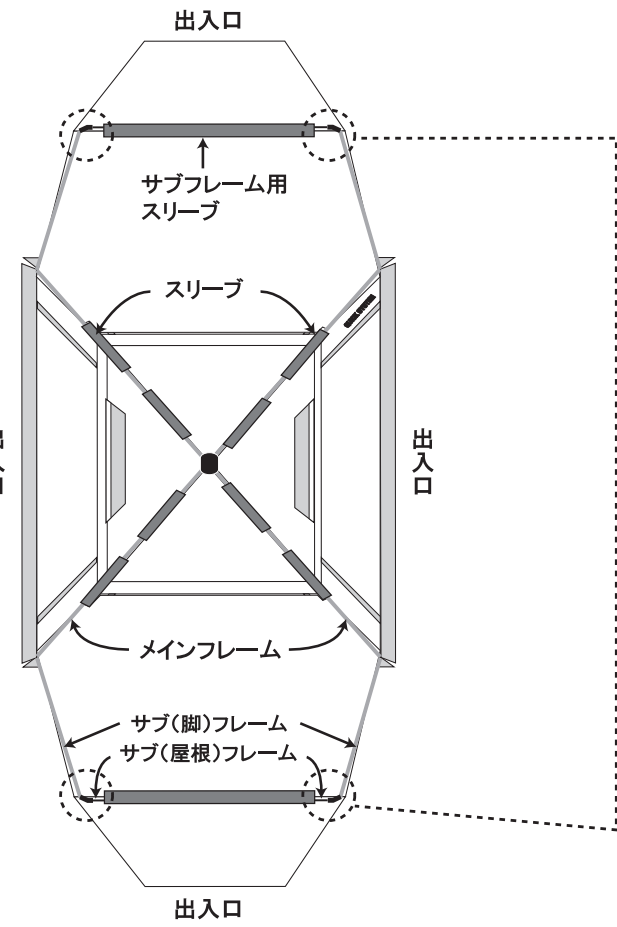


スペースベース・ドックスクリーン-N
No.71459010

●部品構成表

テント本体	1張
フレーム	メイン アルミ+グラスファイバー (本体に接続済み) サブ(屋根)グラスファイバー×2本 サブ(脚)スチール(3節)×4本 キャンピー スチール(2節)×2本
アクセサリ	ロープ×14本 (一部本体に接続済み) ペグ×32本

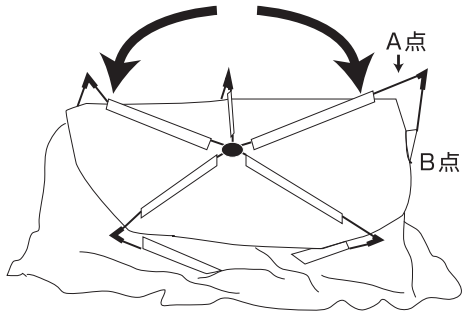


【注意】
設営は必ず2人以上で行なって下さい。1人で行なうと生地やフレームに不必要な力が加わり、破損等の原因になりますのでご注意ください。
製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載している注意事項をよく読み、キャンプ用テントの特性を理解してください。
風向き、日当たり、水はけ等を考慮して設営位置を決めてください。風の影響を受けにくい場所をお勧め致します。

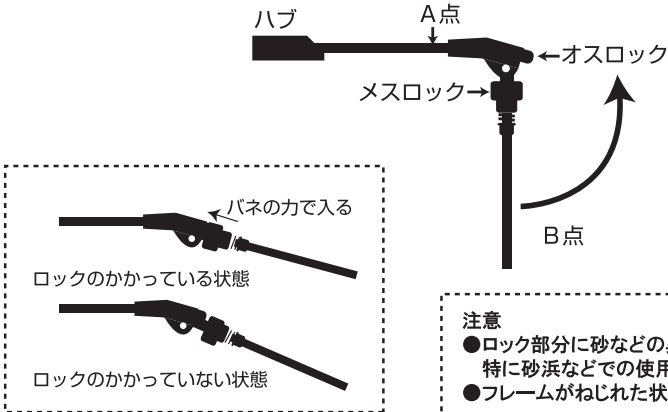
設営方法

※写真はイメージです。

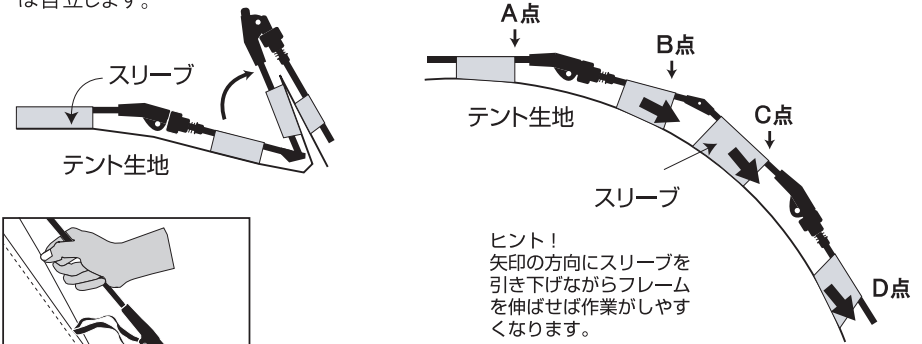
1) キャリーバッグからテントを取り出してください。
テント本体とフレームは予めセットされています。
1人がテント天井部のハブ(円盤状のジョイント)のヒモもしっかり持って持ち上げてください。
この時、このハブにテント生地が噛み込まないように注意してください。



2) もう1人がメインフレームの上部ジョイントの上(A点)を持ち、もう一方の手で下部ジョイントの少し上(B点)を持って、フレームをセットして下さい。この時、ロックが確実に掛かっていることを確認してください。



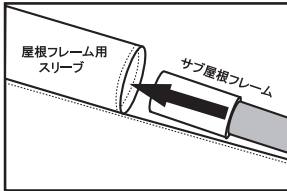
3) 同様にC点を持ち、もう一方の手でD点を持ってフレームをセットしてください。
他の3本のメインフレームも同様にセットしてください。完了しましたら、中央部は自立します。



注意

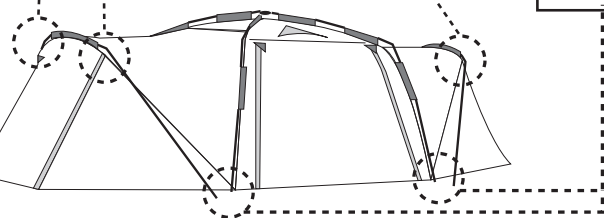
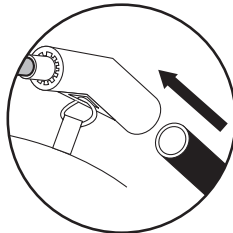
- ロック部分に砂などの異物が浸入するとジョイントが解除できない等正常に作動しなくなります。特に砂浜などでの使用、撤収の際は十分にご注意ください。砂噛み等での故障による保証は当社の責任外とさせていただきます。予めご了承ください。
- フレームがねじれた状態で無理に伸ばそうとすると、ジョイントが破損します。フレームを伸ばす際、ねじれないことを確認してください。

4) サブ屋根フレームを連結しセットしてください。
同フレームを屋根フレーム用スリーブに通してください。
その後、同フレームの左右先端をブラジョイントに挿入してください。【4ヶ所】

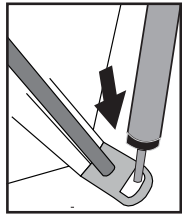


ブラジョイント挿入口内側に凹凸の加工を施している方に差し込んで下さい。

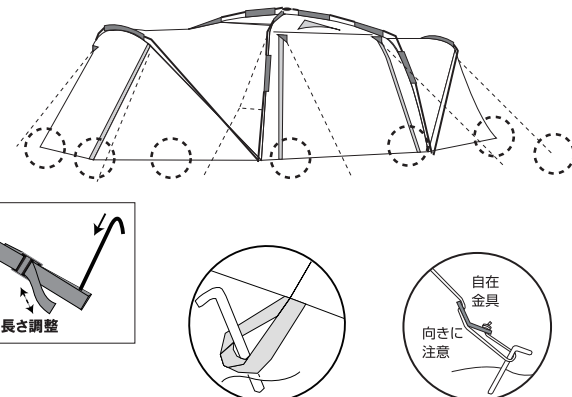
5) サブ脚フレームを連結しセットしてください。
同フレーム上部を 4) で使用したブラジョイントの反対側の挿入口に差し込んでください。【4ヶ所】



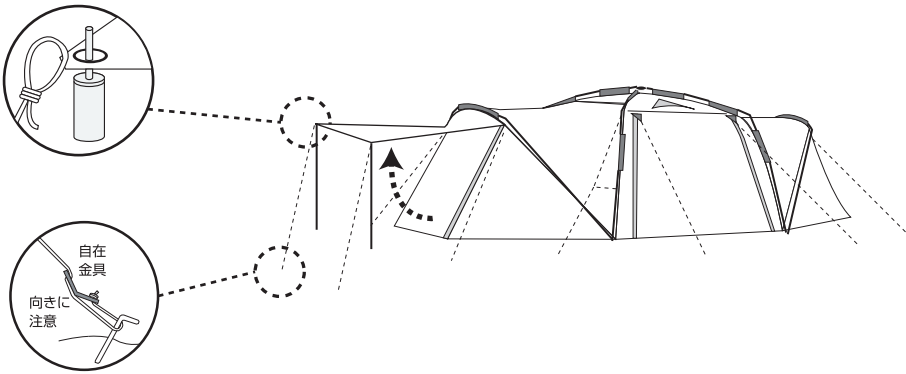
6) 同フレーム下部のピンをメインフレーム先端のリングに差し込んでください。【4ヶ所】



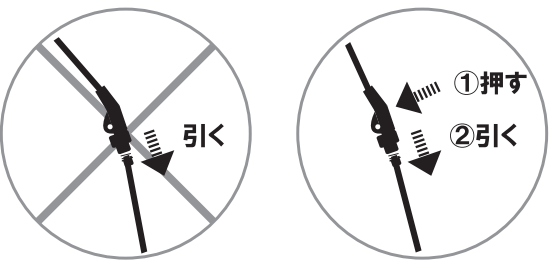
7) テント裾のループをペグで固定してください。
また、ロープを解き下端をペグで固定してください。



8) 出入口のフラップを跳ね上げ、キャンピーとして使用できます。
キャンピーポールをセットし、先端をキャンピー裾にあるグロメットに差込ます。
ロープの先端を輪にしてポール先端に引っ掛け下端をペグで固定します。



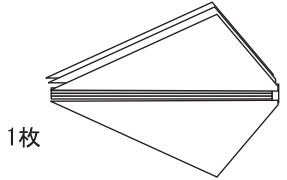
●ジョイントロック解除方法



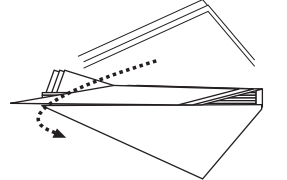
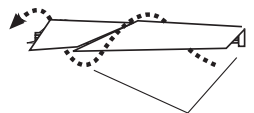
●生地のたたみ方

図のように束ねたフレームを中心に生地を伸ばしてたたんで下さい。
その際、1枚とそれ以外に分けて下さい。

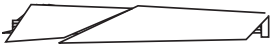
多くたたんだ方をフレームに巻き付けて下さい。



巻き付け状態を見ながら、細い方へ巻き付けて下さい。



最後に残り1枚をフレームに巻居て下さい。



※製品構造上、綺麗に巻きつけて収納する事はできません。
イラストのように生地が揃う物でもございません。ご了承ください。